

研究情報の公開・オプトアウトについて

人を対象とした研究では、原則として対象となる方から直接同意を頂いたうえで研究を行っておりますが、臨床研究の中には、国が定める‘人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針’に基づき、対象となる方から直接同意を頂く代わりに、あらかじめ内容をホームページで公開して、患者様やご家族が情報や検体を使うことを拒否できる機会を設けるものがあります。これを「オプトアウト」と言います。

宮崎大学医学部附属病院循環器内科で現在実施している研究課題「血栓関連循環器疾患における個別最適化を目指した診療体系構築のための探索研究 -血栓形成能解析システム (T-TAS: Total Thrombus-formation Analysis System) を用いて-」において、検査項目の追加に関するオプトアウトを実施させていただきます。

この研究は宮崎大学医学部附属病院の研究倫理審査委員会の審査を受け承認を得て行っているものであり、研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用されることがありますが、名前など個人が特定できるような情報が公開されることはありません。ご自身又はご家族の診療情報や資料を研究で使用してほしくないと思った方は、以下の連絡先までご連絡下さい。

研究責任者

宮崎大学医学部附属病院 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北幸一

研究目的

血栓が関連する循環器疾患の病態の把握、治療効果判定、心血管イベントや出血性合併症の発症予測に関する新しい知見を得ることを目的としています。

追加を行う検査内容と目的

冠動脈疾患を有する患者さんの炎症病態を評価するため、保存した血清を使用し、IL-6, IL-1 の血中濃度測定を行います。

カテーテルアブレーション、植え込み型心臓電気デバイス治療を行った患者さんで、治療時に採取した血液を使用し、IL-6、TNF- α 、MCP-1 濃度、VEGF 濃度測定を行います。

上記検査は、すでに同意を頂いたうえで採取させて頂いた血液の残りを使用させて頂くものであり、追加の侵襲・負担はありません。

お問い合わせ先

担当者：田中浩喜 井手口武史

電話番号：0985-85-0872 (循環器・腎臓内科学分野)

0985-85-9227 (循環器内科医局)